

廃棄物焼却炉、廃ガス洗浄施設
及び灰の貯留施設の記載例

様式第1(第4条関係)

特定施設設置(使用、変更)届出書

不要な記載を訂正線で消してください。

〇〇年〇〇月〇〇日

提出日を記載してください。

青森県知事 殿

工場長等の代表者以外の者が届出者となる場合は、委任状等の届出の権限を有することが分かる書類を添付してください。

届出者 〒〇〇〇—〇〇〇〇
青森県××市〇〇町□—△
〇〇株式会社 代表取締役 青森太郎
(TEL:〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)

ダイオキシン類対策特別措置法第12条第1項(第13条第1項又は第2項、第14条第1項)の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇株式会社青森工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	××市〇〇町□—△	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	令別表第1第5号 廃棄物焼却炉 令別表第2第15号イ 廃ガス洗浄施設 令別表第2第15号 灰の貯留施設	備考1参照 施行令別表第1及び第2の号番号と施設の名称を記載してください。	
△特定施設の構造	大気基準適用施設にあつては別紙1、 水質基準対象施設にあつては別紙4の とおり。		
△特定施設の使用の方法	大気基準適用施設にあつては別紙2、 水質基準対象施設にあつては別紙5の とおり。	※備考	
△発生ガス又は汚水若しくは廃液の処理の方法	大気基準適用施設にあつては別紙3、 水質基準対象施設にあつては別紙6の とおり。		

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、大気基準適用施設にあつてはダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第1、水質基準対象施設にあつては同令別表第2に掲げる号番号及び名称を記載すること。
- 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

施設の種類ごとに通し番号を付して記載してください。追加又は更新する場合は、過去に届出した番号と重複しないようにしてください。

例えば、既設の1号、2号のいずれか又は両方が届出後に廃止され、新たに施設を設置する場合は、3号からの通し番号になります。

なお、当該施設に届出者側の固有番号がある場合（記載例ではWI-1）で、今後の管理等のために届出上の通し番号（記載例では廃棄物焼却炉3号）との関係を明確にしておきたい場合は、通し番号とは別に（ ）書きで固有番号を記載してください。

別紙1

特定施設(大気基準適用施設)の構造

工場又は事業場における施設番号	廃棄物焼却炉3号 (WI-1)		
特定施設号番号及び名称	令別表第1第5号 廃棄物焼却炉		
型 式	〇〇工業 □□-△△		
施設 の 設 置 場 所	別添図面のとおり		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日	
工 事 着 手 予 定 年 月 日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日	
工 事 完 成 予 定 年 月 日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日	
使 用 開 始 予 定 年 月 日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日	
規 模	原料の処理能力 (t/h)		
	変圧器の定格容量 (kVA)		
	炉の容量 (t)		
	焼却能力 (kg/h)	365	メーカーの仕様書等に記載された最大焼却能力を記載してください。
	火床面積 (㎡)	12 (2.5m×4.8m)	燃烧室の水平投影面積を記載してください。
その他参考となるべき事項			

備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

2 規模の欄には、令別表第1に掲げる施設に係る項目について記載すること。

3 特定施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付のこと。

特定施設(大気基準適用施設)の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		廃棄物焼却炉 3号	
使用状況	1日当たりの使用時間 及び月使用日数等	9時～17時 25日/月	時～ 時 日/月
	季節変動	通年	季節変動がない場合は、「通年」又は「なし」と記載してください。
原料及び燃料 (ダイオキシン類の発生に影響のあるものに限る。)	種類	紙くず、繊維くず、ゴムくず、 廃プラ	備考1参照 重量比で記載してください。 塩素分の成分割合は、廃棄物の種類ごとの成分割合を示した上で、使用割合時における成分割合を記載してください。
	使用割合	各25wt% (混焼)	
	原料又は燃料中の塩素分の成分割合(%)	紙くず0.36%、繊維くず0.41% ゴムくず0.00%、廃プラ0.50% (全体では0.32%)	
	1日の使用量	2,920 kg	「焼却能力」×「1日の使用時間」を超えないことを確認してください。
排出ガス量(m ³ /h)		最大 7,462 (湿)、5,088 (乾) 通常 5,970 (湿)、4,070 (乾)	備考2参照 湿りガス、乾きガスの別が分かるように記載してください。
排出ガス温度(°C)		200	
排出ガス中の酸素濃度(%)		11	
排出ガス中のダイオキシン類の濃度(ng-TEQ/m ³)		最大 1.0 (O ₂ =12%) 通常 0.8 (O ₂ =12%)	備考3参照 発生ガスの処理後の濃度とし、標準酸素濃度(O ₂ =12%)に換算して記載してください。 メーカー保証値、同型施設の測定値、諸元からの計算値などの根拠となる資料を添付してください。
その他参考となるべき事項			

- 備考 1 廃棄物焼却炉にあつては、種類の欄には、汚泥、廃プラの廃棄物の種類を、使用割合の欄には、廃棄物の種類ごとの焼却割合を記載すること。
- 2 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態(以下「標準状態」という。)における量に、排出ガス中のダイオキシン類の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
- 3 ダイオキシン類の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 その他参考となるべき事項の欄には、排出ガスの排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出ガス量の変動の状況を記載のこと。

処理施設ごとに記載してください。

発生ガスの処理の方法

工場又は事業場における 施設番号	廃ガス洗浄施設1号(SCR-1)	サイクロン1号
名称及び型式	廃ガス洗浄施設(スクラバー) 〇〇社製□□型	サイクロン(ミストセパレーター) 〇〇社製△△型
発生ガスの処理の内容	水酸化ナトリウム溶液のスプレー による廃ガスの冷却、中和及びば いじんの1次除去	廃ガス洗浄により除去できなかつ たばいじんの2次除去及び廃ガス 洗浄ミストの除去
処 理 の 系 統	別添発生ガス処理系統図のとおり	別添発生ガス処理系統図のとおり
施 設 の 設 置 場 所	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
工事完成予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
使用開始予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
その他参考となるべき事項		

ダイオキシン類の排出低減処理の内容を記載してください。

備考1参照

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 発生ガスの処理に係る施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

「排出ガスの発生及び排出ガスの処理の系統」に係る本様式は規則に定められた様式ではありませんが、規則第4条第2項に基づき本内容を記載した書類の添付が必要となります。

排出ガスの発生及び排出ガスの処理の系統

工場又は事業場における施設番号	廃棄物焼却炉 3 号
排出ガスの発生及び排出ガスの処理の系統並びに排出ガスの測定箇所	<p>【処理の系統概略】</p> <p>廃棄物焼却炉 3 号 ↓ 廃ガス洗浄施設 1 号 (スクラバー) ↓ サイクロン 1 号 (ミストセパレーター) ↓ (煙道) — 排出ガス測定口 ↓ 煙突 1 号</p> <p>別添発生ガス処理系統図、配置図のとおり</p>

施設の種類ごとに通し番号を付して記載してください。追加又は更新する場合は、過去に届出した番号と重複しないようにしてください。
 例えば、既設の1号、2号のいずれか又は両方が届出後に廃止され、新たに施設を設置する場合は、3号からの通し番号になります。
 なお、当該施設に届出者側の固有番号がある場合（記載例ではSCR-1、TK-1）で、今後の管理等のために届出上の通し番号（記載例では廃ガス洗浄施設1号、灰の貯留施設1号）との関係を明確にしておきたい場合は、通し番号とは別に（ ）書きで固有番号を記載してください。

廃ガス洗浄施設及び湿式集じん施設はダイオキシン類を含む汚水等を工場・事業場の内部で循環して使用し公共水域に排出しないものや、下水道に接続しているものも、水質基準対象施設に該当します。

灰の貯留施設は汚水又は廃液を排出するものが対象となります。

別紙4

特定施設(水質基準対象施設)の構造

工場又は事業場における施設番号	廃ガス洗浄施設1号 (SCR-1)	灰の貯留施設1号 (TK-1)
特定施設番号及び名称	令別表第2第15号イ 廃ガス洗浄施設	令別表第2第15号 灰の貯留施設
型 式	〇〇社製□□型 スクラバー塔	〇〇社製△△型 貯留槽
構 造	別添構造図のとおり ステンレス製	別添構造図のとおり 鉄筋コンクリート製
主 要 寸 法	別添構造図のとおり 直径2.5m×高さ5.25m	別添構造図のとおり 縦2m×横4m×深さ2.5m
能 力	廃ガス処理量 8,500 m ³ /h	灰貯留量 16 m ³
配 置	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	備考2参照 年 〇〇月 〇〇日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	
使 用 開 始 予 定 年 月 日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	
その他参考となるべき事項	廃棄物焼却炉3号の廃ガス処理施設	廃棄物焼却炉3号の焼却灰貯留施設
<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> 処理対象となるガス、貯留対象となる灰を発生する大気基準適用施設を記載してください。 </div>		

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

特定施設(水質基準対象施設)の使用の方法

工場又は事業場における 施設番号	廃ガス洗浄施設 1 号		灰の貯留施設 1 号	
設 置 場 所	別添配置図のとおり		別添配置図のとおり	
操 業 の 系 統	別添操業系統図のとおり		別添操業系統図のとおり	
使 用 時 間 間 隔	9 時～17 時 (連続)		24 時間連続	
1 日 当 た り の 使 用 時 間	8 時間		24 時間	
使 用 の 季 節 的 変 動	通年		通年	
原材料(消耗資材を含む。) の種類、使用方法及び1日当 たりの使用量	苛性ソーダ (45%) 20L		なし	
汚水又は廃液の汚染状態	通 常	最 大	通 常	最 大
	ダイオキシン類 80pg-TEQ/L	ダイオキシン類 100pg-TEQ/L	ダイオキシン類 80pg-TEQ/L	ダイオキシン類 100pg-TEQ/L
汚水処理前の汚染状態を記載ください。同型施設の測定値、文献 値、諸元からの計算値などの根拠資料を添付してください。				
汚水等の量(m ³ /日)	通 常	最 大	通 常	最 大
	30	45	0	0.1
その他参考となるべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水は凝集沈殿処理し、上澄みを廃ガス洗浄水として循環使用する。 ・汚泥は脱水後に業者委託により処理する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・焼却灰を灰押し出し装置にて灰ピットに落とし込む際に、冷却及び飛散防止のために散水する。 ・汚水は汚水ピットに集められ、廃ガス洗浄施設の汚水と合わせて凝集沈殿処理する。 	

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	汚水処理施設 1号 (GR-1)							
処理施設の設置場所	別添配置図のとおり							
設置年月日	年	月	日	年	月	日		
工事着手予定年月日	〇〇	年	〇〇	月	〇〇	日	備考 1 参照	
工事完成予定年月日	〇〇	年	〇〇	月	〇〇	日		
使用開始予定年月日	〇〇	年	〇〇	月	〇〇	日		
種類及び型式	急速凝集沈殿装置 〇〇社製××型							
構造	別添構造図のとおり							
主要寸法	別添構造図のとおり 直径 3 m×深さ 2 m							
能力	65 m ³ /日							
処理の方式	凝集沈降分離							
処理の系統	別添処理系統図のとおり							
集水及び導水の方法	別添集水・導水図のとおり							
使用時間間隔	連続							
1日当たりの使用時間	24時間							
使用の季節変動	なし							
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	硫酸アルミニウム (凝集剤) 2 kg アルミン酸ソーダ (凝集助剤) 1 kg 苛性ソーダ (pH調整) 10L							
汚水等の汚染状態及び量	通		常		最		大	
	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	80	1.0	100	1.2				
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	処理後の値の根拠となる、メーカー保証値、同型施設の測定値、諸元からの計算値などの資料を添付してください。							
量 (m ³ /日)	30	29.5	45.1	44.3				
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥 約 3 t/月 (脱水後) 許可業者へ委託				備考 2 参照 公共用水域に排出する場合は、排水先公共用水域名を記載のうえ、排水経路図を添付してください。 ・排水口 1→側溝→〇〇川 (〇〇川までの 経路図添付)			
排出水の排出方法	処理水は廃ガス洗浄水として循環使用							
その他参考となるべき事項	事業場外への排水なし							

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

「用水及び排水の系統」に係る本様式は規則に定められた様式ではありませんが、規則第4条第2項に基づき本内容を記載した書類の添付が必要となります。

用水及び排水の系統

工場又は事業場における施設番号	廃ガス洗浄施設 1 号 灰の貯留施設 1 号					
用水及び排水の系統	別添処理系統図、集水・導水図のとおり					
	※処理水は廃ガス洗浄水として循環使用するため事業場外への排水なし					
	排水量 (最終排水口) (m ³ /日)	最大	排水なし	ダイオキシン類 濃度 (pg-TEQ/L)	最大	— (参考 処理後1.2)
		通常	排水なし		通常	— (参考 処理後1.0)
放流先	放流なし					
用途別用水使用量	用 途	使 用 水		用水使用量(m ³ /日)		
	廃ガス洗浄水	地下水		13		
	焼却灰への散水	地下水		0.2		

「添付資料」に係る本様式は規則に定められた様式ではありませんが、規則第4条第2項に基づき本内容を記載した書類の添付が必要となります。

添付資料

1. ダイオキシン類発生抑制のための構造上の配慮及び運転管理に関する事項

ア 構造上の配慮

- ・ばいじん、有害ガス（HC 1、SO_x）を効率よく除去でき、廃ガス温度を200℃以下に急冷できる廃ガス洗浄施設（スクラバー）の設置
- ・廃ガス洗浄施設で除去しきれなかったばいじんの2次除去、洗浄ミストの除去のためのサイクロン（ミストセパレーター）の設置

イ 運転管理

- ・2次燃焼室の温度を熱電対温度計により常時モニタリングし、設定温度（800℃以上で設定）を下回ることがないように助燃装置の自動制御による燃焼管理

2. 緊急連絡用の電話番号その他緊急時における連絡方法

緊急時に連絡が必要となった場合の担当者連絡先を記載してください。

連 絡	住 所	〒〇〇〇—〇〇〇〇 青森県〇〇市〇〇町〇—△		
	名 称	〇〇株式会社青森工場		
	担当者 所属部署	施設課	担当者氏名	〇〇 △△
	電 話	×××× (××) ××××	F A X	×××× (××) ××××

添付書類として必要な内容が記載されているのであれば、複数事項が同一の書面又は図面に記載されていてもかまいません。

《 添付書類 》

添付書類		書類の内容・説明	備考		
1	特定施設等（大気・水質共通）の設置場所を示した図面				
	①	事業場の案内図	地図上での事業場の位置がわかるもの		
	②	事業場の平面図	事業場内での特定施設の設置場所がわかるもの		
	③	特定施設の配置図	施設の設置場所での施設配置がわかるもの		
2	大気基準適用施設の能力・構造等を示した書面及び図面				
	ア	大気基準適用施設			
		①	施設の仕様書又はカタログ等	焼却能力、火床面積等がわかるもの	
		②	施設の構造図	主要寸法がわかるもの	別紙1/備考3
		③	原料又は燃料中の塩素分の成分割合を示した資料	実測値、文献値等	
		④	排出ガス量に関する計算書		
	⑤	排出ガス中のダイオキシン類濃度を示した書面	メーカー保証値、同型施設の測定値、諸元からの計算値等		
	イ	発生ガスの処理施設			
		①	施設の仕様書又はカタログ等		
		②	施設の構造図	主要寸法、処理後の排出ガスの測定口がわかるもの	別紙3/備考2
		③	発生ガス処理系統図		
④		排出ガスに関する計算書			
⑤	排出ガス中のダイオキシン類濃度を示した書面				
3	水質基準対象施設の能力・構造等を示した書面及び図面				
	ア	水質基準対象施設			
		①	施設の仕様書又はカタログ等		
		②	施設の構造図	主要寸法がわかるもの	
		③	施設の操業系統図		
		④	汚水等のダイオキシン類濃度を示した書面	同型施設の測定値、文献値、諸元からの計算値等	
	イ	汚水等の処理施設			
		①	施設の仕様書又はカタログ等		
		②	施設の構造図	主要寸法がわかるもの	
		③	汚水等の処理系統図		
		④	集水・導水図		
		⑤	汚水等の処理後のダイオキシン類濃度を示した書面	メーカー保証値、同型施設の測定値、諸元からの計算値等	
⑥	排水経路図 ※公共用水域に排出する場合	主要水域（河川等）に至るまでの経路がわかるもの			